

2016年3月期 決算説明会

2016年5月20日(金)
東証1部 4539

目次

スライド番号

- | | | |
|--------------------|-----|----|
| 1. 2016年3月期 決算の概要 | ... | 3 |
| 2. 2017年3月期 通期業績予想 | ... | 12 |
| 3. 当社経営戦略について | ... | 15 |

2016年3月期 決算の概要

連結損益の概況

(百万円)

	2015年3月期		2016年3月期				業績予想	
	金額	構成比	金額	構成比	前期比 (増減額)	前期比 (増減率)	金額	(達成率)
売上高	35,118	100.0%	35,602	100.0%	+483	+1.4%	36,600	97.3%
売上原価	18,352	52.3%	18,803	52.8%	+450	+2.5%		
[原価率増減P]				[+0.5p]				
販売管理費	13,480	38.4%	13,653	38.3%	+173	+1.3%		
[販管费率増減P]				[△0.1p]				
営業利益	3,285	9.4%	3,145	8.8%	△ 140	△ 4.3%	2,800	112.3%
経常利益	3,217	9.2%	2,945	8.3%	△ 271	△ 8.4%	2,700	109.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,899	5.4%	1,961	5.5%	61	+3.3%	1,700	115.4%

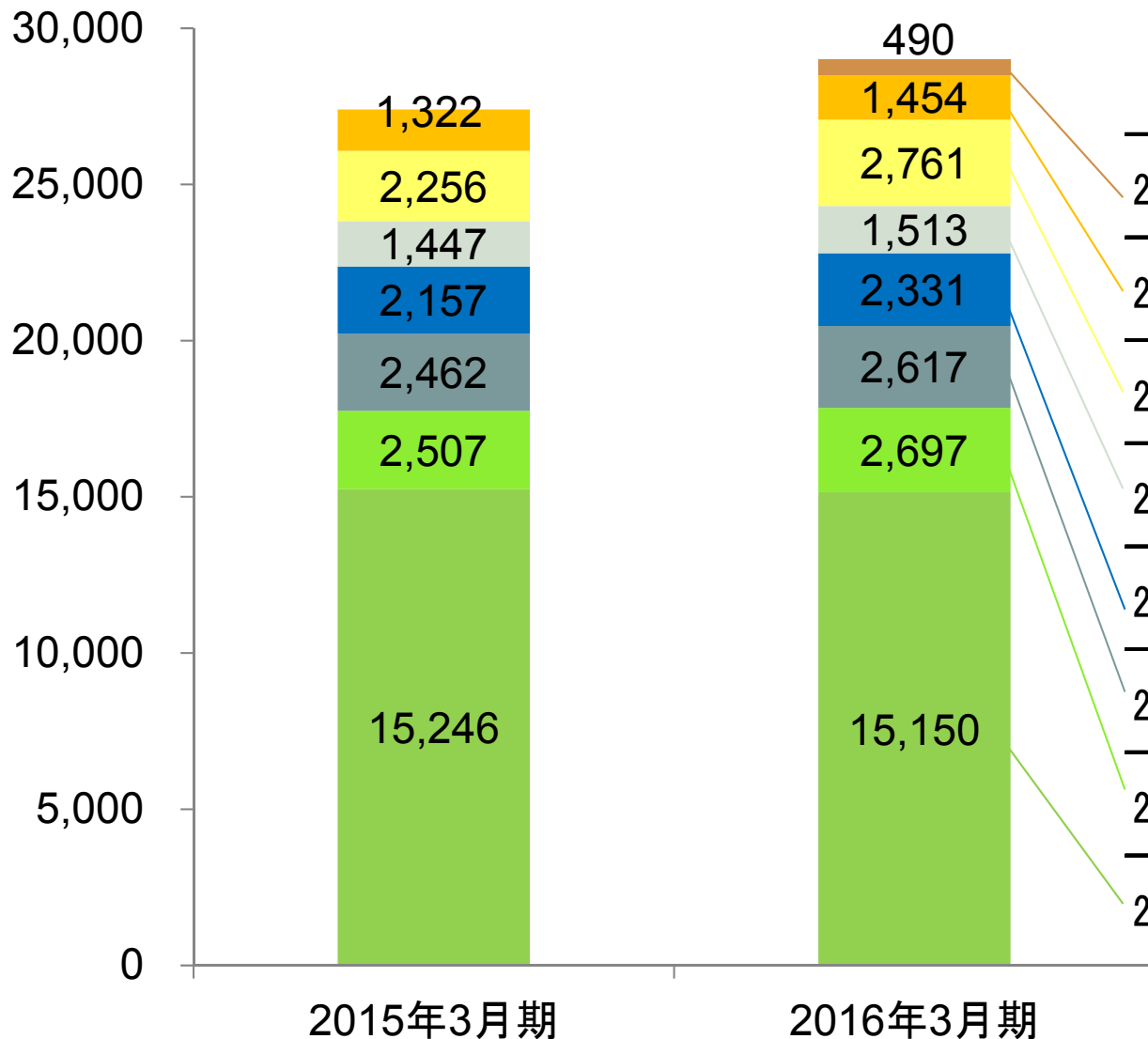
医療用医薬品の状況(連結/荷離)

(百万円)

	2015年3月期		2016年3月期		増減率
	金額	構成比	金額	構成比	
医療用医薬品荷離(①+②)	30,800	100.0%	31,937	100.0%	+3.7%
①ジェネリック医薬品荷離	27,400	89.0%	29,016	90.9%	+5.9%
うち自社販売	25,079		27,404		+9.3%
うち導出・輸出	2,321		1,612		△ 30.6%
アムロジピン	3,011		3,159		+4.9%
ランソプラゾール	1,935		2,182		+12.8%
リマプロストアルファデクス	1,509		1,487		△ 1.4%
ラベブラゾール	1,595		1,737		+8.9%
ドネペジル	1,704		1,712		+0.5%
プラバスタチン	1,273		1,260		△ 1.0%
ボグリボース	1,013		1,004		△ 0.9%
その他	15,357		16,471		+7.3%
②主力品	3,400	11.0%	2,920	9.1%	△ 14.1%
ウラリット	1,975		1,723		△ 12.8%
ソレトン	1,134		928		△ 18.2%
カルバン	290		268		△ 7.5%
ジェネリック医薬品事業(①+③)	28,918	—	30,243	—	+4.6%
③ジェネリック医薬品受託	1,518	—	1,226	—	△ 19.2%

ジェネリック医薬品 発売年度別売上 (連結/荷離)

(百万円)

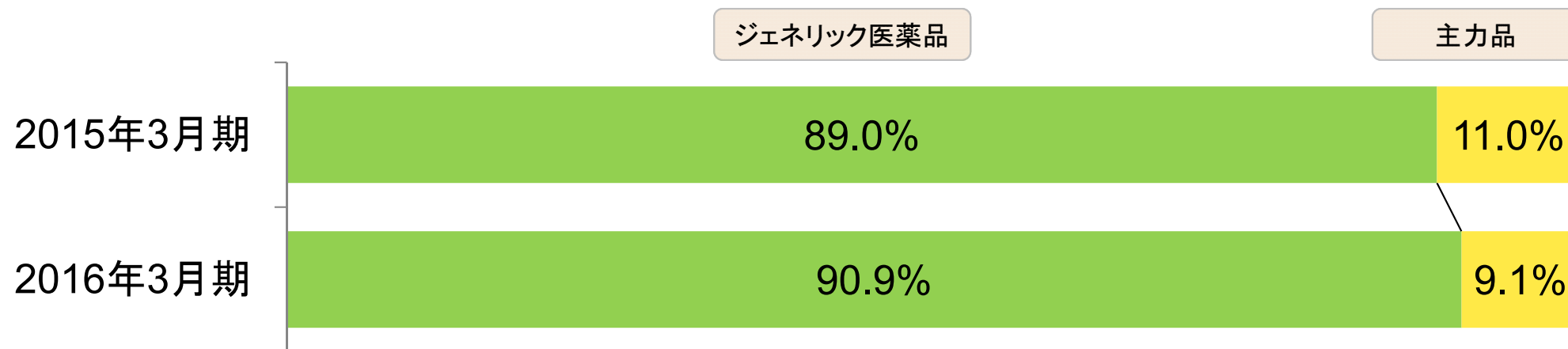


発売年度別前期比増減率

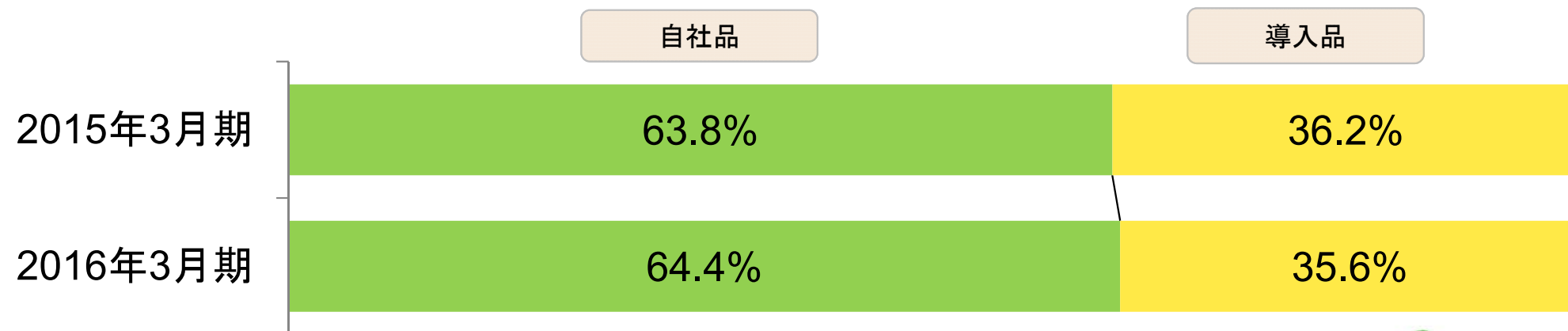
発売年度	連結荷離	うち自社販売
2016年3月期	(今期発売)	
2015年3月期	+10.0%	+101.8%
2014年3月期	+22.4%	+27.1%
2013年3月期	+4.6%	+5.9%
2012年3月期	+8.1%	+6.8%
2011年3月期	+6.3%	+9.9%
2010年3月期	+7.6%	+7.6%
2009年3月期以前	△ 0.6%	+0.3%

ジェネリック医薬品売上構成比(連結/荷離)

医療用医薬品売上に占めるジェネリック医薬品の構成比



ジェネリック医薬品売上に占める自社品と導入品の構成比



業態別ジェネリック医薬品売上状況(個別/荷離)

	2014年3月期	2015年3月期		2016年3月期	
	売上構成比	売上構成比	売上前期比	売上構成比	売上前期比
病 院(100床以上)	13	13	+4.9%	14	+19.5%
診 療 所(100床未満)	15	12	△ 10.1%	12	+2.5%
保険薬局	71	74	+9.6%	73	+8.8%
その他	1	1	△ 19.5%	1	△ 11.0%
合 計	100	100	+5.7%	100	+9.2%
うちDPC病院	—	—	+14.5%	—	+24.9%

【保険薬局市場におけるカバー率(個別)】

57,000軒中 約70%(ジェネリック医薬品のみの値)



貸借対照表(連結)

(百万円)

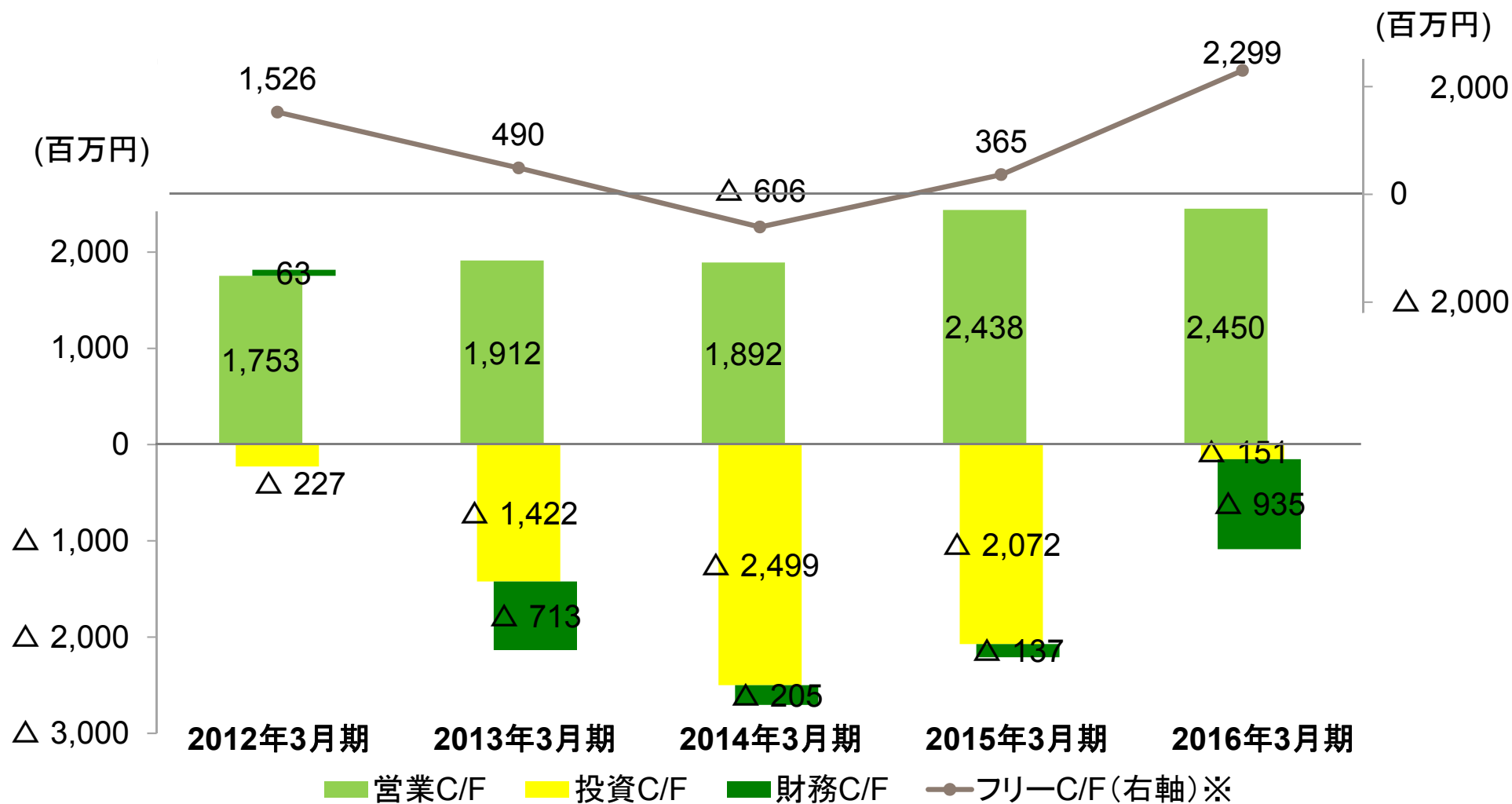
項目	2015年3月期	2016年3月期	増減	主な増減項目	
流動資産	24,844	27,378	+2,533	現金及び預金	+1,342
				受取手形及び売掛金	+1,442
				棚卸資産	△ 147
固定資産	16,583	16,263	△ 319	建物及び構築物	△ 268
				機械装置及び運搬具	△ 424
				建設仮勘定	+687
資産合計	41,428	43,644	+2,215		
負債合計	25,801	27,602	+1,800	支払手形及び買掛金	+1,198
				借入金	+388
純資産合計 (自己資本比率)	15,626 37.7%	16,041 36.7%	+415	利益剰余金	+1,516
				自己株式	△ 594
負債純資産合計	41,428	43,644	+2,215		

キャッシュ・フロー対前期比較

(百万円)

	2015年3月期	2016年3月期	差異	備考
税金等調整前当期純利益	3,093	2,945	△ 147	
減価償却費	1,200	1,178	△ 22	
売上債権の増減額	△ 1,075	△ 1,442	△ 367	
仕入債務の増減額	△ 822	1,198	2,020	
法人税等の支払額	△ 1,010	△ 1,252	△ 241	
その他	1,052	△ 177	△ 1,229	
営業キャッシュ・フロー	2,438	2,450	12	
固定資産の取得による支出	△ 2,065	△ 857	1,207	前期: つくば3号棟機械設備
その他	△ 6	706	713	
投資キャッシュ・フロー	△ 2,072	△ 151	1,921	
短期借入金の純増減額	△ 104	24	128	
長期借入金の純増減額	782	364	△ 417	
配当金の支払額	△ 403	△ 403	0	
その他	△ 412	△ 921	△ 508	自己株式取得△603
財務キャッシュ・フロー	△ 137	△ 935	△ 797	

キャッシュ・フロー推移



※ フリーC/F...営業C/F+投資C/F

2017年3月期 通期業績予想

連結業績予想

(百万円)

	2016年3月期		2017年3月期予想		
	金額	構成比	金額	構成比	増減率
売上高	35,602	100.0%	38,000	100.0%	+6.7%
うち 医療用医薬品 荷離	31,937		34,180		+7.0%
(ジェネリック医薬品)	29,016		31,680		+9.2%
(主力品)	2,920		2,500		△ 14.4%
営業利益	3,145	8.8%	2,800	7.4%	△ 11.0%
経常利益	2,945	8.3%	2,700	7.1%	△ 8.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,961	5.5%	1,850	4.9%	△ 5.7%

医療用医薬品売上計画 (連結/荷離)

(百万円)

	2016年3月期		2017年3月期予想		
	金額	構成比	金額	構成比	増減率
医療用医薬品荷離(①+②)	31,937	100.0%	34,180	100.0%	+7.0%
①ジェネリック医薬品荷離	29,016	90.9%	31,680	92.7%	+9.2%
うち自社販売	27,404		30,080		+9.8%
うち導出・輸出	1,612		1,600		△ 0.8%
アムロジピン	3,159		3,060		△ 3.2%
ランソプラゾール	2,182		2,460		+12.7%
リマプロストアルファデクス	1,487		1,570		+5.5%
ラベブラゾール	1,737		1,740		+0.1%
ドネペジル	1,712		1,940		+13.3%
プラバスタチン	1,260		1,270		+0.8%
ボグリボース	1,004		1,040		+3.6%
その他	16,471		18,600		+12.9%
②主力品	2,920	9.1%	2,500	7.3%	△ 14.4%
ウラリット	1,723		1,500		△ 13.0%
ソレトン	928		740		△ 20.3%
カルバン	268		260		△ 3.2%
ジェネリック医薬品事業(①+③)	30,243	100.0%	33,040	100.0%	+9.2%
③ジェネリック医薬品受託	1,226	4.1%	1,360	4.1%	+10.9%

当社経営戦略について

3つのMission Plus 1

経営基本戦略

■3つのMissionによる経営戦略

- ✓ 3つのMissionを実現することで独自のビジネスモデルを確立する。
- ✓ Missionの成果を海外へ展開し、更なる将来成長を確保する。



Mission1 ジェネリック医薬品

情報提供力や製品工夫による差別化を図り、“質”を追求した特色あるジェネリック医薬品事業を展開する。

Mission2 高尿酸血症(尿アルカリ化薬)

高尿酸血症領域など、尿アルカリ化療法に関する臨床研究の成果を最大限に活用する。
新規尿酸降下薬の開発を進める。

Mission3 新薬開発

疼痛分野などの得意分野に特化した探索型新薬開発を展開する。

Plus1

3つのミッションの成果をアジアを中心とした海外市場へ展開する。



経営戦略①

ジェネリック医薬品

開発

- ・**特長ある製品開発**
医療現場のニーズを取り入れた「一番手」製剤の開発強化。
- ・**高品質・安価な原薬の活用**
原薬の切り替えによる製造原価低減を図る。
数年前から取り組みに着手しており、着実にその成果があがっている。

製造

- ・**つくば3号棟の段階的実装化**
全面免震構造の日本薬品工業つくば3号棟は、本年上期中に1階部分の実装化を完了。
今後需給状況をみながら2階部分への追加投資を検討する。
- ・**海外製造拠点の建設**
2016年2月起工式を実施。現在、現地人材の採用を進めている。
2017年の試験製造、2018年の本格稼動に向けて建設中。



ベトナム工場起工式

販売

- ・**新たなGE市場への対応**
2016年診療報酬改定により、新たに院内処方先での需要が拡大。
昨年より開始した開業医等の重点訪問を継続。
- ・**抗がん剤を通じた病院市場へのアクセス強化**
- ・**地域包括ケアへの対応推進**

経営戦略②

高尿酸血症（尿アルカリ化薬）

情報提供

- 臨床研究データを活用した啓発活動

CKD*進展抑制に対する臨床研究（東北大）
メタボリックシンドロームと酸性尿に関する臨床研究
高尿酸血症における尿路管理の有用性に関する
啓発活動の強化

CKOALA Study、進行中。



東北大におけるCKD臨床研究の
マスコットキャラクター

新薬開発

- NC-2500**（高尿酸血症治療薬/XOR阻害薬）

より望ましい結果が期待できるものと判断し、
新製剤による追加Phase1試験の実施に向け準備中。

- NC-2700**（高尿酸血症治療薬）

2016年3月、開発番号を新たに付与。
2016年度より前臨床試験に着手。早期導出を図る。



ウラリットキャラクター
「うらりん」と「うらいむ」

*CKD:慢性腎臓病

経営戦略③

新薬開発

(青太文字: 今回のアップデート部分)

ターゲット	開発番号	作用機序	現状	コメント
脂質代謝改善	NC-2400	PPAR- δ 作動薬	Phase1終了 (米国)	セレニス社(仏)へ導出済み。
高尿酸血症 (前掲)	NC-2500	XOR阻害薬	追加Phase1 (日本)	改良製剤による追加Phase 1試験を 本年9月に開始予定。
	NC-2700		前臨床 (日本)	2016年度より前臨床試験に着手。
神経障害性 疼痛	NC-2600	P2X4受容体拮抗薬	前臨床終了 (日本)	【AMED*支援テーマ】 前臨床試験を終了。 2016年上期中にPhase 1試験開始予定。
抗うつ・ 抗不安	NC-2800	オピオイド δ 受容体 作動薬	前臨床 (日本)	【AMED支援テーマ】 2016年3月、新たに開発番号を付与。 支援期間中(~2018年3月)の終了を 目指し、前臨床試験を実施予定。

*AMED: 国立研究開発法人日本医療研究開発機構

経営戦略④

海外へのアクセス

医療用医薬品

ASEAN、中国などアジアを中心に活動を加速させ、申請品目数と取引の拡大を目指す。

■海外での取り組み

<販売中>

中国 パートナーによるカルバンの販売開始。

韓国 パートナーを介し、ソレトン・カルバンを販売中。

香港 ピオグリタゾンに加え、シロスタゾールの承認を取得。

タイ パートナーを介し、ウラリットを販売中。

<承認申請中>

4カ国で5品目を承認申請中

■ベトナムでの取り組み

Nippon Chemiphar Vietnamを設立。2016年2月、同社工場の起工式実施。2018年の本格稼動にむけ建設中。



現地工場外観予想図

臨床検査薬

世界最速のアレルギー診断機器(DiaPack3000)を武器に協力企業との海外マーケティングを進展中。

本資料に関するお問い合わせ先
日本ケミファ株式会社 広報室
Tel 03-3863-1211 Fax 03-3864-5940

本資料における将来の予想等に関する各数値は、現時点で入手可能な情報に基づく弊社の判断や仮定によるものであり、リスクおよび不確実性が含まれております。したがって実際の業績等は、予想数値とは異なる結果となる可能性があります。